

現代的課題対応研修「公民館事業活性化研修会」事業報告

- 1 事業名 令和4年度 現代的課題対応研修「公民館事業活性化研修会」
- 2 日時 令和4年9月28日(水) 10:00~15:55
- 3 趣旨 現代的課題の一つである「防災」への学びをとおして、公民館が地域コミュニティの維持や持続的な発展に向けて中核的な役割を果たすとともに、多様な主体と連携・協働し、「開かれ、つながる社会教育」の実現を目指す。
- 4 対象 社会教育・生涯学習関係職員、公民館関係職員、社会教育施設・コミュニティ施設職員、防災担当主管課職員、自主防災組織関係者、地域活動指導員、社会教育委員、社会福祉協議会関係者、民生委員・児童委員、市民団体・NPO等関係者、その他関心のある方
- 5 研修内容
研修1〈被災地報告〉「住民の自助・共助による避難所運営」
～熊本地震からの創造的復興の源～
熊本県阿蘇郡西原村 元税務課長 堀田 直孝 氏
研修2〈事例発表〉「被災の教訓を生かして」
～「みんなで防災、減災」その拠点としての公民館～
大牟田市三池地区公民館 館長 西田 久 氏
大牟田市生涯学習課 主査 浦川 一浩 氏
研修3〈演習〉「地域の防災について考える」
～「OSAKA 防災タイムアタック！」を手がかりに～
福岡県立社会教育総合センター 社会教育主事 原田 嘉樹
- 6 当日の様子



【被災地報告の様子】



【事例発表の様子】



【演習の様子】

本研修会は、現代的課題の一つである「防災」をテーマとして、公民館および類似施設の事業や、地域コミュニティの活性化を目指して、福岡県公民館連合会と福岡県教育委員会の主催により開催しました。

〈被災地報告〉では、熊本地震によって被災した熊本県阿蘇郡西原村の当時の様子を、講師の堀田氏から語っていただきました。避難所で起こったトラブルを基に、解決のための対策と考え方や日常的に取り組むべき準備等を聞いた参加者は、それぞれの地域で取り組めるアイデアを得ることができました。

〈事例発表〉では、令和2年の大牟田豪雨災害において、生涯学習課（行政）と公民館が連携を取りながら対応した様子や、被災時の減災・防災の取組について大牟田三池地区公民館長の西田氏と大牟田市生涯学習課主査の浦川氏に発表していただきました。避難所の開設状況や災害の状況がリアルタイムで分かる「防災リアルタイム情報」システム導入の経緯や、今後の課題についての報告がありました。参加者は、公民館と行政の連携・協働の具体について学ぶことができました。

〈演習〉では、参加者同士で防災の取組について意見交換し、その後「OSAKA 防災タイムアタック！」（大阪市総合生涯学習センターと神戸学院大学が共同で開発した防災教育教材）を体験しました。参加者は、それぞれの所属で今後の取組としてできることをグループ内で共有し合い、更なる公民館事業の活性化に向けて意識を高めることができました。